

2009 年度

=====

国際高等研究所フェロー研究会
「大学法人化のもとでの地学教育の現状と将来」

=====

場所：国際高等研究所 セミナー室

日時：2009年8月28日（金）14:00～8月29日（土）13:00

プログラム：

8月28日（金） 13:30-14:00 受付

14:00-14:10 竹本修三：開会の挨拶と趣旨説明

14:10-14:40 吉岡直人：横浜市立大学の法人化問題

14:40-15:10 中村 尚：東大における「地学」受験者数の推移と若手研究者の将来の問題

15:10-15:40 前田晴良：地学復権に向けての京都大学の試行錯誤－地質学と社会教育

15:40-15:50 （休憩）

15:50-16:10 加藤道雄：金沢大学の最近の改組について

16:10-16:30 藤沢健太：山口大学の地学教育をめぐる現状

16:30-16:50 ト部厚志：新潟大学における地学教育の負のスパイラル

16:50-17:10 氏家 治：富山大学における野外調査教育の危機

18:00- 懇親会・宿泊（けいはんなプラザホテル）

8月29日（土）

9:30- 9:50 角縁 進：佐賀大学文化教育学部における理数教育

9:50-10:10 戸谷友則：天文学の大学院教育と若手研究者の将来

10:10-10:30 竹本修三：センター試験「地学」受験者の動向

10:30-10:40 （休憩）

10:40-12:20 総合討論（吉岡直人・中村 尚）

12:20-12:30 所長挨拶 尾池和夫

===== （以上）

2010 年度

京大防災研究所一般研究集会

「地学教育の現状とその改革－防災知識の普及に向けて－」

開催日時：2010 年 9 月 1 日（水）10:00～9 月 2 日（木）12:30

開催場所：京都大学宇治構内共通会議室（総合研究実験棟 2F、CB207 室）

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

9 月 1 日（水）

開会挨拶：竹本修三（国際高等研究所）

基調講演：Natural History の復権を目指して：廣田 勇（京都大学名誉教授）

1. 大学法人化以後の大学地学教育の現状と課題

1.1 茨城大学における地学教育の現状と展望：岡田 誠（茨城大学理学部）

1.2 静岡大学における地学教育と防災教育：里村幹夫（静岡大学理学部）

1.3 広島大学理学研究科における地学教育：須田直樹（広島大学大学院理学研究科）

1.4 将来の地学教育・研究を担う大学院生・若手研究者の実情－ 気象学会の

アンケート調査から －：中村 尚（東京大学大学院理学系研究科）

1.5 新潟大学における子どもを対象とした防災知識の普及活動：

ト部厚志（新潟大学災害復興科学センター）

1.6 防災と時間学：藤沢健太（山口大学時間学研究所）

1.7 富山大学理学部における英語教育の副産物 － 火山噴火による航空機事故の例：

氏家 治（富山大学名誉教授）

1.8 高知女子大の改組と地学教育の課題：大村 誠（高知女子大学生活科学部）

1.9 神戸学院大学における地学教育の変遷と現状－非理工系総合大学における地学

教育の一例として－：大塚成昭（神戸学院大学人文学部）・藤原保裕（神戸

学院大学教務事務グループ）

1.10 私立大学における地学教育の試み－奈良産業大学の場合－：

向井厚志（奈良産業大学情報学部）

2. 小・中・高校地学教育の現状と課題

2.1 小・中学校の理科の授業での地学防災教育の試み：

角縁 進（佐賀大学文化教育学部）

2.2 小学校教員を目指す大学生の地球温暖化問題に対する関心と知識：

山森美穂（都留文科大学初等教育学科）

2.3 高校地学教育の現状と課題（I）：宮嶋 敏（埼玉県立深谷第一高校）

2.4 高校地学教育の現状と課題（II）：中井 仁（大阪府立茨木工科高校）

2.5 日本地球惑星科学連合教育問題検討委員会の活動：

瀧上 豊（関東学園大学経済学部）

2.6 地学は生き残れるか：吉岡直人・藤田勝代（深田地質研究所）

9月2日（木）

3. 地域と連携した地学・防災教育

（招待講演）ジオパーク活動と地学教育：尾池和夫（国際高等研究所）

3.1 深田地質研究所における地学普及活動：藤田勝代・吉岡直人（深田地質研究所）

3.2 満点計画と地域や学校における防災学習：

飯尾能久・矢守克也（京都大学防災研究所）

3.3 公開天文台（仙台市天文台）と地学教育：土佐 誠（仙台市天文台）

3.4 金沢大学能登半島スタディ・ツアー「奥能登の景勝地から地震に迫る」：

加藤道雄（金沢大学理工研究域自然システム学系）

3.5 地学復権に向けての京都大学の試行錯誤－地質の日の取り組みなど：

前田晴良（京都大学大学院理学研究科）

【総合討論】（竹本修三・飯尾能久・瀧上 豊）

地学教育の現状とその改革－防災知識の普及に向けて－

2011 年度

10 月 1-2 日：研究集会「地学教育の現状とその改革」
東大地震研究所 1 号館 3 階セミナー室

10 月 1 日(土)

09:30 -10:00 受付

10:00-10:10 趣旨説明

竹本修三（京大名誉教授）

10:10-10:40 基調講演

廣田 勇（京大名誉教授）：地球科学における予測の意味と意義

Session 1. 大学・大学院の地学教育（司会：竹本修三）

10:40-11:00 福田洋一（京大大学院理学研究科）：京大院理・地球惑星科学専攻の最近の話題

11:00-11:20 岡田 誠（茨城大学理学部）：震災後の茨城大学における地学教育

11:20-11:35 大村 誠（高知県立大学生生活科学部）：大学改組の地学教育への影響
－高知県立大学の場合－

11:35-11:50 小林茂樹（東海大学産業工学部）：東海大学産業工学部における地学教育の現状

11:50-12:05 里村幹夫（静岡大学理学部）：放送大学を通じた地学の普及活動

12:05-12:20 藤沢健太（山口大学時間学研究所）：時間学研究所と地学教育

12:20-13:20 昼食・休憩

Session 2. 小中高校の地学教育（司会：瀧上 豊・宮嶋 敏）

13:20-13:40 宮嶋 敏（深谷第一高校）：地学実習帳の普及活動と地学基礎の採択状況

13:40-14:00 川村教一（秋田大学教育文化学部）・荒井賢一（栄東高校）・高木大輔（三本松
高校）・内記昭彦（三田高校）・芝川明義（花園高校）・相原延光（新羽高校）・
田口康博（佐世保西高校）：高校生地震および地震研究に関する認識

14:00-14:20 齋藤弘一郎（宮城県大崎市立古川東中学校）：中学校における地学教育の現状と
課題－被災した中学校のこれまで・これから－

14:20-14:40 加藤琢也（宮城県岩沼市立岩沼小学校）：被災地の小学校における理科教育の
現状と課題

14:40-15:10 西原武幸（東京書籍株式会社 中学理科編集部）：教科書編集の立場から見た
地学教育

15:10-15:20 休憩

Session 3. 教員養成の問題（司会：瀧上 豊・宮嶋 敏）

15:20-15:40 山森美穂（都留文科大学初等教育）・柴崎和夫（國學院大學人間開発学部初等
教育学科）：小学校教員を目指す大学生の地球温暖化に対する知識と理解

15:40-16:00 角縁 進（佐賀大学文化教育学部）：教員養成課程における地学・防災教育

16:00-16:10 休憩

16:10 -17:50 総合討論

（パネリスト：竹本修三、瀧上 豊、宮嶋 敏）

18:00-19:30 懇親会

10月2日(日)

09:30-10:00 受付

Session 4. 地学・災害科学のアウトリーチ活動 (司会：瀨瀬一起・大木聖子)

10:00-10:20 大木聖子 (東京大学地震研究所) : 東大地震研のアウトリーチ活動

10:20-10:40 坂東昌子 (NPO 法人あいんしゅたいん) : わかることの具体性…実験教室の経験から学ぶ

10:40-10:55 向井厚志 (奈良産大学情報学部) : 地元小学生対象に実施している奈良産大の地学教育

10:55-11:10 杉 憲子 (共立女子大学家政学部) : 地学オリンピック(1)ーこれまでの実績ー

11:10-11:25 瀧上 豊 (関東学園大学経済学部) : 地学オリンピック (2)ー今後の計画ー

11:25-11:40 藤田勝代 (深田地質研究所)・加藤弘徳 (荒谷建設コンサルタント)・横山俊治 (高知大学) : ジオ鉄ー自然を楽しむ鉄道旅行の提案とその取組み

11:40-12:10 尾池和夫 (国際高等研究所) : ジオパークと地学教育

12:10-12:30 瀨瀬一起 (東京大学地震研究所) : 災害科学の限界と災害情報

12:30-12:40 まとめ・閉会の辞 (竹本修三)

12:40 散会

2012年度

11月17-18日東大地震研究所・研究集会

「地学教育の現状とその改革」

日時：2012年11月17日（土）および18日（日）

場所：東京大学地震研究所2号館第二会議室（予定）

参加費：無料（受付でご所属とお名前、連絡先を記入していただきます）

11月17日(土)

- 9:30 受付開始

I. 大学・大学院の地学教育（10:00-12:00）司会（竹本修三）

- 10:00-10:30 次世代人材育成に関する大学・大学院教育の課題：
福田洋一（京大大学院理学研究科）
- 10:30-10:55 地球・惑星科学における大学教育の質保証について：
中村 尚（東京大学 先端科学技術研究センター）
- 10:55-11:20 博士の多様なキャリアパス：Question からキャリアを創る：
武田隆太・吉田丈治（(株)リバネス）
- 11:20-11:40 17-19世紀の貴重図書による実物教育—京都大学の例：
前田晴良（九州大学総合研究博物館）
- 11:30-12:00 教員養成課程における大学地学・防災教育の現状：
角縁 進（佐賀大学文化教育学部）

II. 小中高校の地学教育（13:30-16:00）司会（畠山正恒・瀧上 豊）

- 13:30-13:55 学習指導要領のよみかた
内記昭彦（東京都立三田高校）
- 13:55-14:25 新指導要領と『地学基礎』教科書の制作：
西久保孝弘（東京書籍株式会社・編集局・理科編集部）
- 14:25-14:45 中学校における地学教育の現状と課題：
能見郁永（さいたま市立指扇中学校）
- 14:45-15:10 指導要領改訂に伴う各校教育課程編成の実際—「地学基礎」開講闘争—：
宮嶋 敏（埼玉県立深谷第一高校）
- 15:10-15:40 学校教育と学術コミュニティーの関わりについて：
川辺文久（文部科学省）
- 15:40-16:00 SSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校の地学教育
—埼玉県立熊谷高校の場合：卜部厚志（新潟大学災害・復興科学研究所）・
小幡喜一（埼玉県立熊谷高校）

16:00-16:10 休憩

16:10-17:40 総合討論

18:00-19:30 懇親会

11月18日(日)

• 9:00 受付け開始

III. 地学・災害科学のアウトリーチ活動

• 9:30-9:50 地学オリンピックの最近の動き：

瀧上豊(関東学園大学経済学部)・杉 憲子(共立女子大学家政学部)

• 9:50-10:10 ジオパークと地学・防災教育：

尾池和夫(国際高等研究所)

• 10:10-10:30 阿蘇火山博物館における地学教育のアウトリーチ：

須藤靖明(阿蘇火山博物館)

• 10:30-10:50 仙台天文台のアウトリーチ活動：

土佐誠(仙台天文台)

10:50-11:05 休憩

IV. ポスト3.11の防災教育

• 11:05-11:10 ポスト3.11の防災教育：

大木聖子(東京大学地震研究所)

• 11:10-11:30 あきる野市増戸地区の小中連携・地域との連携：

田島弘之(あきる野市立増戸中学校長)

• 11:30-11:50 地方気象台と教育委員会との連携

永田俊光(熊谷地方気象台, 埼玉県学校防災アドバイザー)

• 11:50-12:20 3.11を乗り越えてー南三陸町立歌津中学校のあの日, そして今ー：

佐藤公治(南三陸町立歌津中学校防災主任)

• 12:20-13:00 総合討論

2013 年度

京都大学防災研究所一般研究集会
「防災知識の普及に向けた地学教育の現状とその改革」
プログラム

開催日時:2013 年 8 月 21 日(水)10:00~8 月 22 日(木)13:00

開催場所:京都大学宇治総合研究実験棟 4F(遠隔会議室 HW401)【末尾案内図参照】

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

(アクセス) JR 奈良線・京阪宇治線「黄檗(おうばく)」下車 徒歩 6 分

8 月 21 日(水)

09:30~10:00 受付

●オープニング・セッション

10:00~10:10 開会挨拶:中村 尚(東京大学先端科学技術研究センター)

10:10~10:50 基調講演:廣田 勇(京都大学名誉教授)「地学は『役に立つ』ものなのか」

●「学校の地学・防災教育(I)」座長:畠山正恒(神奈川県聖光学院中学校・高等学校)

10:50~11:10 岡田 誠(茨城大学理学部)

「JABEE プログラムにおけるデザイン教育題材としての地学教育」

11:10~11:30 中島 健(滋賀県立大津清陵高等学校)

「高校地学教育の課題—学習指導要領改訂2年目を迎えて」

11:30~11:50 岡本義雄(大阪教育大学・附属高校天王寺校舎地学科)「高校地学教育への提言」

11:50~12:10 和田充弘(大阪府立泉北高等学校)「SSHの取り組みのなかでの高校地学教育」

12:10~12:30 松田元世(数研出版)「新学習指導要領の地学に関する考察」

【昼食・休憩】

13:50~14:10 今川一彦(京都府同志社中学校・高等学校)

「高校地学教育に防災知識をどう取り込むか —その試行錯誤」

14:10~14:30 山田俊弘(千葉県立船橋高等学校)「地学教育史の見直しへ向けて」

14:30~14:50 齋藤弘一郎(宮城県古川黎明中学校)「被災地における中学校理科教育の現状から」

●「学校の地学・防災教育(II)」座長:中村 尚(東京大学先端科学技術研究センター)

14:50~15:30 招待講演:西山忠男(熊本大学大学院自然科学研究科)

「地球惑星科学分野分野における学部教育の参照基準案について」

【休憩】

15:40~16:00 川辺文久(文部科学省)「地学教育への期待 —時空間スケールの多様性を例に—」

- 16:00～16:20 福田洋一(京都大学大学院理学研究科)「教養教育としての地学教育」
16:20～16:40 前田晴良(九州大学総合博物館)「松本達郎によるご進講と天覧化石
—大学地学教育の一側面—」
16:40～17:00 高橋雅紀(産業技術総合研究所)「つまらない地質学—その先を信じて—」

【休憩】

- 17:15～17:55 【総合討論】 パネラー:竹本修三・畠山正恒・中村 尚
18:10～20:00 【懇親会】 黄檗プラザ レストラン「きはだ」(会費:¥4,000)

8月22日(木)

09:45～10:00 受付

●「地学教育・防災教育のアウトリーチ」 座長:竹本修三(京都大学名誉教授)

10:00～10:20 土佐 誠(仙台市天文台)「社会教育施設・仙台市天文台における地学教育」

10:20～10:40 戸谷友則(東京大学大学院理学系研究科):

「すばる望遠鏡が描き出した史上最遠方の宇宙立体地図とアウトリーチ」

10:40～11:00 茂木耕作(海洋研究開発機構):

「NHK『学ぼう BOSAI』台風編の制作・出演で激変した私の教育観」

11:00～11:20 ト部厚志(新潟大学災害・復興科学研究所)・堀 文明・今井和行(新潟市南区)

「中学生にむけた防災教育の取り組み —新潟市南区を例として—」

11:20～11:40 前田純伶(京都大学防災研究所)・小林 弘(大阪教育大学大学院)・和田充弘(大阪
府立泉北高等学校)「こどものためのジオ・カーニバル」の過去・現在・未来

11:40～12:00 藤田勝代(深田地質研究所・深田研ジオ鉄普及委員会):

ジオ鉄(R)の5年間のあゆみと今後の展望

12:00～12:20 杉 憲子(共立女子大学)「地学オリンピックの最近の動き」

12:20～13:00 【総合討論】 パネラー:竹本修三・向川 均・中村 尚

2014 年度

第 262 回生存圏シンポジウム：「地球惑星科学の持続的発展をめざした教育の充実」

日時：9/27（土）13:30～9/28（日）15:00

場所：京都大学・宇治キャンパス内「木質ホール」

9/27（土）

13:10～ 受付

(13:30-14:20) 開会挨拶及び基調講演

13:30-13:40 中村 尚（東京大学 先端科学技術研究センター） 開会挨拶

13:40-14:20 竹本修三（京大名誉教授）基調講演:大学法人化後 10 年の地学教育

(14:20-17:50) 座長：中村 尚

セッション 1：主に大学・大学院の地学教育(14:20-17:50)

14:20-14:40 秋友和典（京大・院・理・地球惑星科学専攻地球物理）

京大全学共通科目 B 群科目部会（地学）に関して

14:40-15:00 宮崎真一（京大・院・理・地球惑星科学専攻地球物理）

京大地物教室が提供している学部科目の構成と狙い

15:00-15:20 角縁 進（佐賀大学文化教育学部理数教育講座）

教員養成コースの地学教育

15:20-15:30 休憩

15:30-15:50 大村 誠（高知県立大学文化学部）

高知県立大学の地学教育・防災教育について

15:50-16:10 向井厚志（奈良産大学情報学部）

私立大学の非理系学生を対象とした地学教育について

16:10-16:30 藤沢健太（山口大学 時間学研究所）

日本における天文学者の分布

16:30-16:50 中串孝志（和歌山大学 観光学部）

地方国立大学での天文アクティビティ

16:50-17:10 中島 健（滋賀県立大津清陵高等学校通信部）

高校「科学と人間生活」の課題と次期教育課程への展望

特別講演(17:10-17:50)

17:10-17:50 津田敏隆（京都大学生存圏研究所）

日本地球惑星科学連合がめざす道

18:15-19:45 懇親会

黄檗プラザレストラン「きはだ」 会費 4,000 円

9/28（日）09:30～ 受付

(09:40-12:00) 座長：畠山正恒

セッション 2：中学・高校の地学教育

09:40-10:00 畠山正恒（聖光学院中学・高等学校）

21 世紀の理数系教育に求められるもの

10:00-10:20 宮嶋 敏（埼玉県立深谷第一高等学校）

次期高校学習指導要領改訂への JpGU 及び諸学会、学術会議の取組み

10:20-10:40 小尾 靖（神奈川県立向の岡工業高等学校 定時制・総合学科）

- 現行の地学基礎の内容を基盤にした選択必修科目の提案
10:40-11:00 上村剛史 (海城中学・高等学校)
地球人として必要な内容を基盤にした総合的な理科の提案
11:00-11:20 根本泰雄 (桜美林大学自然科学系)
世界の地球科学教育の現状と JpGU で考える C 案の提唱に向けて
11:20-11:40 岡本義雄(大阪教育大学・附属高校天王寺校舎地学科)
地学教育を取り巻くアンビバレンツな2つの問い
11:40-12:00 和田充弘(大阪府立泉北高等学校)
新課程『地学基礎』と『考える力』について

12:00-13:00 昼食・休憩

(13:00-15:00) 座長：塩谷 雅人(京大大学生存圏研究所)
セッション3：地学・天文教育のアウトリーチ

-
- 13:00-13:20 青木成一郎 (京大・附属天文台)
地学教育のアウトリーチー京都千年天文学街道
13:20-13:40 川辺文久 (文部科学省)・茨木孝雄 (杉並区立科学館)
都市部の科学教育施設の光と影
13:40-14:00 杉 憲子 (共立女子大) :
国際地学オリンピックについて
14:00-14:20 前田晴良 (九大総博)・大野照文 (京大総博)・渡辺順也 (京大・理院)
学生との共同作業による関東大震災ー貴重資料の再発見
14:20-14:40 茂木耕作 (海洋研究開発機構)
モテサク先生にグーグル先生よりも勝る価値はあるのか?
～気象学から気象楽へ～
14:40-15:00 まとめ 中村 尚 (東京大学 先端科学技術研究センター)
15:00 閉会
-
-

2015 年度

京大防災研究所・研究集会 (2015 年 8 月 29 日～30 日)

自然災害科学としての地学教育—防災・減災知識の普及に向けて—

会場：8 月 29 日(土) 高槻市生涯学習センター (〒569-0067 高槻市桃園町 2-1)

8 月 30 日(日) 京大防災研究所阿武山観測所(〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原 944)

プログラム

8 月 29 日(土) 高槻市生涯学習センター (第 2 会議室) [注 1]

09 : 40～10 : 00 受付

10:00～10:05 開会挨拶

福田洋一 (京大院理・地球惑星科学専攻)

10 : 05～10 : 45 基調講演

●教育の多様性について・・・誰に、何を、どう教えるのか

廣田 勇 (京大名誉教授、JpGU フェロー)

10 : 45～11 : 45 学校地学教育 I (主に大学・大学院教育) (座長 福田洋一)

●(1-1) 京大全学教育における地学

谷 誠 (京大国際高等教育院・農学部併任)

●(1-2) 京大院理の地球惑星科学教育

田口 聡 (京大院理・地球惑星科学専攻)

●(1-3) 福山市立大学の理科・地学教育

向井厚志 (福山市立大学都市経営学部)

11 : 45～12 : 50 昼食

12 : 50～13 : 50 学校地学教育 I (主に大学・大学院教育・続き) (座長 福田洋一)

●(1-4) 教育学部での地学教育に将来はあるか

角縁 進 (佐賀大学文化教育学部理数教育講座)

●(1-5) GSSP (Global Boundary Stratotype Section and Point:国際標準模式層断面及び地点) の地学教育への応用

岡田 誠 (茨城大学理学部地球環境科学領域)

●(1-6) 地学教育における地質図の活用のすすめ

川辺文久 (文部科学省)

13 : 50～14 : 00 休憩

14 : 00～16 : 40 学校地学教育 II (主に中・高校の地学教育) (座長 畠山正恒)

●(2-1) 平成 27 年度大学入試センター試験「地学基礎」の分析と学校現場の反応：

上村剛史 (海城中学・高等学校), 南島正重 (東京都立両国高等学校)、

宮嶋 敏 (埼玉県立深谷第一高等学校)、ほか

●(2-2) <招待> 教科書の用語使用に関する課題と今後への対応—地学領域での状況—；

根本泰雄 (桜美林大学自然科学系), 宮嶋 敏 (埼玉県立深谷第一高等学校)、

小林則彦 (西武学園文理中学・高等学校)、ほか

●(2-3) <招待> 「地学基礎」担当教員への JpGU による 2014 年度実施アンケート

調査の結果：小林則彦 (西武学園文理中学・高等学校), 畠山正恒 (聖光学院

中学・高等学校), 宮嶋 敏 (埼玉県立深谷第一高等学校)、

川村教一 (秋田大学教育文化学部) ほか

- (2-4) 次期学習指導要領改訂に向けた中教審の動きと JpGU および理数系諸学会の
動向:宮嶋 敏(埼玉県立深谷第一高等学校), 根本泰雄(桜美林大学自然科学系)、
瀧上 豊(関東学園大学), 畠山正恒(聖光学院中学・高等学校)
- (2-5) 中学校「理科」教科書のマイナーチェンジ後の問題点と高校「基礎」科目の選択
動向 : 畠山正恒(聖光学院中学・高等学校)
- (2-6) 2014 年度に発表した JpGU による A 案, B 案, C 案のその後の動き :
藤原 靖(神奈川県立向の岡工業高等学校 定時制・総合学科)、
川村教一(秋田大学教育文化学部)、ほか
- (2-7) 高校の地学教育に関する私案: 吉岡直人(深田地質研究所)

16:40~16:50 休憩

16:50 ~17:30 総合討論 (パネリスト: 畠山正恒、根本泰雄、竹本修三)

18:00~19:30 懇親会

場所: JR 高槻駅前「グリーンプラザタカツキ 1 号館」5F 「つきの井」、会費 4000 円

8月30日(日) 京大防災研阿武山観測所

09:40~10:00 受付

10:00~11:40 地学教育のアウトリーチ (座長 飯尾能久)

- (3-1) 国際地学オリンピックの日本開催に向けて: 杉 憲子(共立女子大)
- (3-2) 仙台市天文台の地学・天文教育のアウトリーチ: 土佐 誠(仙台市天文台)
- (3-3) 京都大学での4次元デジタル宇宙シアター: 青木成一郎(京大・院理・附属天文台)
- (3-4) 70年振りに発見された100年前の傾斜計: 竹本修三(京大名誉教授)
- (3-5) 阿武山観測所のサイエンスミュージアムプロジェクトについて:
飯尾能久(京大防災研)

11:40~12:30 阿武山観測所の歴史資料室見学

12:30 解散

[注1] 高槻市役所横の総合センター内(2F)、JR 高槻・阪急高槻市駅から徒歩約8分

[注2] 2日目の阿武山観測所へのアクセスですが、15名程度は個人の車に便乗できます。懇親会のときに受付にお申し出ください。その他の方は、相乗りでタクシー利用をお勧めします。高槻駅前から阿武山観測所までのタクシー料金は1800円程度です。

2016年度

第319回生存圏シンポジウム「地球惑星科学の持続的発展を目指す教育の将来像」
プログラム

日時：2016/7/31（日）10:30～8/1（月）15:30

場所：京都大学・宇治キャンパス 宇治おうばくプラザ セミナー室1・2

2016/7/31（日）

10:10～ 受付

10:30-10:35 開会挨拶：塩谷雅人（京大・生存圏研究所）

(10:35-12:05) 座長：畠山正恒（聖光学院）・宮嶋 敏（埼玉県立熊谷高校）
セッション1：小中高校の地学・防災教育 I

10:35-10:55 畠山正恒（聖光学院中学・高等学校）

「地学教育・防災教育の授業実践から考える現状と課題」

10:55-11:15 宮嶋 敏（埼玉県立熊谷高校）「防災の観点で改訂し『埼玉から地学 地球惑星科学実習帳』」

11:15-11:45 田口康博（千葉県立銚子高校）「JpGUの考える新「地学基礎」の概要紹介」

11:45-12:05 美澤綾子（静岡県立静岡高校）「地学基礎で学ぶ防災 一生徒に好評だった教材の紹介」

12:05-13:30 昼食・休憩（プラザ内のレストラン「きはだ」は営業）

(13:30-15:10) 座長：根本泰雄（桜美林大学）
セッション2：小中高校の地学・防災教育 II

13:30-13:50 川辺文久・小原 俊（文部科学省）「国語教材のなかの地学」

13:50-14:10 吉岡直人（深田地質研究所）「地震学会主催の教員免許状更新プログラムについて」

14:10-14:40 富田晃彦（和歌山大学）「教員養成学部での学生の意識と課題」

14:40-15:10 総合討論（小中高校の地学防災教育について）

15:10-15:30 休憩

(15:30-17:30) 座長：廣田 勇（京大名誉教授）
特別セッション：科研費審査システム改革2018の科学教育への影響について

15:30-15:45 中村 尚（東大・先端科学技術研究センター）「今回の科研費改訂の趣旨について」

15:45-16:10 根本泰雄（桜美林大学）「科学研究費助成事業（科研費）改革に対する懸念—peer review 退行の危機では？」

16:10-16:35 斎藤靖二（国立科学博物館名誉館員）「自然科学系博物館学芸員の対応」

16:35-16:50 廣田 勇（京大名誉教授）「改革案の背景と問題提起」

16:50-17:30 パネル討論：廣田 勇，中村 尚，根本泰雄，斎藤靖二，塩谷雅人
（以上，パネラー）

18:00-19:30 懇親会（おうばくプラザ カフェレストラン「きはだ」）

※ 懇親会費（4,000円）は受付の際に集金させていただきます。なるべく釣り銭のないようお願い致します。

2016/8/1 (月)

09:30～ 受付

(10:00-12:00) 座長：大久保修平 (東大・地震研究所)

セッション3：大学・大学院の地学・防災教育

10:00-10:20 岡田 誠 (茨城大学・理学部) 「GSSP (Global Boundary Stratotype Section and Point: 国際標準模式層断面及び地点) の地学教育への応用」

10:20-10:40 小森次郎 (帝京平成大学) 「福島県浜通り地域での地学/防災/資源に関する巡検」

10:40-11:00 角縁 進 (佐賀大学・教育学部) 「熊本地震と防災教育」

11:00-11:30 大倉敬宏 (京大・火山研究センター) 「阿蘇火山研究センターにおける熊本地震の被害の現状と教育活動への影響」

11:30-12:00 平原和朗 (京大・院・理) 「南海地震に関連した地学・防災教育」

12:00-13:00 **昼食・休憩** (生協食堂、及びプラザ内コンビニは営業)

(13:00-15:00) 座長：竹本修三 (京大)、中村 尚 (東大・先端科学技術研究センター)

セッション4：地学・防災教育に関わるアウトリーチ

13:00-13:30 作花一志 (京都情報大学院大学) 「京都千年天文街道と超新星・彗星の出現記録」

13:30-13:50 杉 憲子 (共立女子大) 「三重で開催される 2016 年国際地学オリンピック」

13:50-14:10 前田晴良 (九大総博)・池上直樹 (御船町恐竜博)・松田博貴 (熊本大)・北村晃寿 (静岡大) 「熊本・大分地震による地域博物館の被害と今後の課題」

14:10-14:30 竹本修三(京大名誉教授) 「地殻ひずみの観測に基づく日本の地震予知研究の現状」

14:30-15:00 福田洋一 (京大院理) 「測地学と防災—GGOS (Global Geodetic Observing System: 全球統合測地観測システム)の紹介」

15:00-15:25 総合討論

15:25-15:30 まとめ 中村 尚 (東大・先端科学技術研究センター)

15:30 閉会

◆本シンポジウムに関する問合せ先：東京大学・先端科学技術研究センター・中村 尚研究室

nakamura_lab@atmos.rcast.u-tokyo.ac.jp

2017年度（地学教育研究集会）

東大地震研究所共同研究集会 2017-W06

「地震・火山現象を含む学校地学教育の現状とそのイノベーション」

=====プログラム=====

日程： 2017年11月11日（土）～11月12日（日）

場所： 東京大学地震研究所 1号館2Fセミナー室。

東京都文京区弥生 1-1-1 <http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/access/> 東京地下鉄南北線東大前駅（1番出口）より徒歩約5分、もしくは東京地下鉄千代田線根津駅（1番出口）より徒歩約10分。

研究会代表者：戸谷友則（東大院理）

連絡先：大久保修平（東大地震研） okubo@eri.u-tokyo.ac.jp, 03-5841-8274

2017年11月11日（土）

10:00 開場

10:25 開会挨拶：戸谷友則（東大院理系）

10:30～12:10 セッション①:大学・大学院の地学教育（座長:戸谷友則）

（100分：1講演20分）

10:30 角縁 進（佐賀大教育）：佐賀大学教育学部での地学のアクティブラーニング

10:50 福田洋一（京大院理）：京大院理学研究科における地学教育

11:10 河野孝太郎（東大院理・天文学教育研究センター）：

東大天文学科における地学教育

11:30 矢島道子（大学非常勤講）：大学・大学院の地学教育への注文

11:50 大久保修平（東大地震研）：全国地球惑星科学系学科・専攻の動向－地球惑星科学委員会の年次アンケートから見えるもの

12:10～13:10 昼食・休憩

13:10～15:50 セッション②：地学教育のアウトリーチ（座長:竹本修三・京大名誉教授）

13:10 岡田 誠（茨城大理）：最後の地磁気逆転が記録された“千葉セクション”の国際標準模式層への認定（チバニアン）と想定される地学教育への貢献

13:30 大倉敬宏（京大阿蘇火山研）：京大阿蘇火山研の熊本地震の影響とその後の復興

13:50 前田晴良（九大総博）・西村智弘（むかわ町穂別博）・小林 快次（北大総博）：地域博物館との共同研究による恐竜発掘の“産地直送”公開展示

14:10 山本圭香（国立天文台 RISE 月惑星探査検討室）：国立天文台 RISE グループのアウトリーチ活動

14:30 杉 憲子（共立女子大）：地学オリンピックの最近の話題

14:50 土佐 誠（仙台市天文台）：仙台市天文台の地学教育への貢献

15:10 川辺文久（文科省）：東京区部産のトウキョウホタテ（東京都の化石）を探る

15:30 吉岡直人（深田地質研究所）深田地質研究所と学校地学教育

15:50～16:00 休憩

16:00～17:30 特別セッション：科学リテラシーと社会の関わり・総合討論

（100分：1講演20分、総合討論30分）

16:00 須藤 靖（東大院理系）：高校の理科教育のあり方

16:20 廣田 勇（京大名誉教授）：科学技術の智リテラシーについて

16:40 畑 康博（栃木・宇都宮高）：高校理科教員の現場からの声

17:00 総合討論（座長:大久保修平）（～17:30）

17:35～19:00 懇親会

（東京大学地震研究所 1号館2Fレクリエーションラウンジ）

2017年11月12日(日)

09:00 開場

09:20~10:40 セッション③ 高校の地学教育①(座長:宮嶋 敏)(80分:1講演20分)

09:20 一岡祐生(北海道・札幌開成中等教育学校):北海道での地学教育-有珠山周辺での野外実習

09:40 小野寺弘幸(岩手・市立盛岡高):岩手県内陸の高校における津波堆積物はぎ取り標本を活用した授業実践

10:00 沼田知紘(千葉・千葉工業高):2011年東北地方太平洋沖地震の千葉県の地学教育に与えた影響

10:20 山崎里英(静岡・小山高):静岡県立小山高校における地学の基礎授業としての防災教育

10:40-10:50 休憩

10:50~12:30 セッション④ 高校の地学教育-2(座長:宮嶋 敏)

10:50 前 義典(三重・木本高):2016年三重開催の国際地学オリンピックにおける国際協力野外調査

11:10 前田憲幸(鳥取・鳥取西高):
2016年鳥取県中部地震(M6.6)の高校地学教育への影響

11:30 高木大輔(香川・高松高):南海トラフ巨大地震を意識した地学基礎での防災教育

11:50 寺井邦久(長崎・島原高):島原半島ユネスコ世界ジオパークを利用した防災教育

12:10 まとめと総合討論 宮嶋 敏(埼玉・熊谷高):
わが国の高校地学教育のめざすべき道

12:30 閉会挨拶:大久保修平

12:40 散会

2018年度 (地学教育研究集会)

京都大学防災研究所 研究集会
「地学教育の展望－来たるべき南海トラフ地震に備えて－」

日時：2018年8月25日(土)～26日(日)

場所：京都大学宇治キャンパス 防災研究所連携研究棟 3階大セミナー室

研究会代表者：前田晴良(九大総合博物館)

受入教員：橋本 学(京大防災研)

=====プログラム=====

8月25日(土)

09:30～09:50 受付

09:50～10:00 開会挨拶：橋本 学(京大防災研究所)

10:00～12:00 セッション1：大学・大学院の地学・防災教育(座長：橋本 学)

10:00～10:20 秋友和典(京大理学研究科)：京大理学研究科における地学教育

10:20～10:40 戸谷友則(東大理学系研究科)：大学・大学院の地学天文教育の現状から、大学入試地学を考える

10:40～11:00 岡田 誠(茨城大学理学部地球環境科学領域)：「チバニアン」と地学・地質学教育

11:00～11:20 角縁 進(佐賀大学教育学部)： ムー大陸は存在したか？ ～空想と真実のはざまに揺れる大学生～

11:20～11:40 藤沢健太(山口大学 時間学研究所)：大地震と防災と時間学

11:40～12:00 向井厚志(福山市立大都市経営学部)：南海トラフの巨大地震に備えた福山市立大学の地学教育

12:00～13:10 (昼食・休憩)

13:10～17:20 セッション2：地学・防災教育のアウトリーチ(座長：前田晴良)

13:10～13:30 松田博貴(熊本大学理学部)：センター試験から共通テストへー特に地学分野の変化と影響ー

13:30～13:50 川辺文久(文科省)：国語教科書における地学的題材について

13:50～14:10 大村 誠(高知県立大学文化学部)：来たるべき南海トラフ地震に備えた地域防災教育

14:10～14:30 大倉敬宏(京大理学研究科地球熱学研究施設(阿蘇))：

2016年熊本地震による京大地球熱学研究施設の被害とその後の復旧

14:30～14:50 福田洋一(京大理学研究科教授)：測地学における国際共同研究

14:50～15:10 岩堀卓弥(京大防災研)：満点計画による防災教育プログラム

(休憩) 15:10～15:20

15:20～15:40 橋本 学(京大防災研)・清水美香(京大国際融合教育研究推進センター)：地震リスクと不確実性に関するワークショップ

15:40～16:00 大邑潤三(京大防災研)：防災教育における歴史災害史料の有用性

16:00～16:20 加納靖之(東大地震研)：南海トラフの巨大地震に関する防災研究ー歴史地震研究からー

16:20～16:40 土佐 誠(仙台天文台)：仙台天文台の学校地学・天文教育への貢献

16:40～17:00 杉 憲子(共立女子大名誉教授)：地学オリンピックの昨今の話題

17:00～17:20 竹本修三(京都大学名誉教授)：2018年6月18日大阪府北部の地震(M6.1)について

17:30～19:00 懇親会

- 8月26日(日) 09:30~10:00 受付
- 10:00~12:00 セッション 3: 高校及び小中学校の地学防災教育 (座長: 畠山正恒)
- 10:00~10:20 畠山正恒 (聖光学院中学・高等学校):
日本地球惑星科学連合 (JpGU) 教育検討委員会の活動について
- 10:20~10:40 中島 健 (龍谷大学・非常勤講師・元滋賀県立高等学校):
高校理科における防災教育
- 10:40~11:00 和田充弘 (大阪府高等学校地学教育研究会、前大阪府立泉北高等学校):
高校「地学基礎」での自然災害と防災教育について
- 11:00~11:20 美澤綾子 (静岡県立静岡高校): ニーズに応える高校地学
- 11:20~12:00 村嶋由紀子 (私の好きなこの街復興支援プロジェクト・元神戸市東灘区
本山南中学校): 阪神淡路大震災被災地の中学校教員が震災後に
考えたこと [招待講演]
- 12:00~13:00 (昼食)
- 13:00~14:40 セッション 3 (続き)
- 13:00~13:40 野村敏郎 (灘高等学校): 灘中学・灘高校の地学教育 [招待講演]
- 13:40~14:00 辻元博子 (京都市立正親小学校): 守れ正親 われらこども防災隊
- 14:00~14:40 青木賢人 (金沢大学人間社会研究域 人間科学系):
石川県・金沢市における学校防災について [招待講演]
- 14:40~15:20 総合討論: パネリスト: 橋本学・前田晴良・畠山正恒、司会: 竹本修三
- 15:20~15:30 閉会挨拶: 前田晴良 (九大総合博物館)
- 15:30 散会

2019年度(地学教育研究集会)

東大地震研究所共同研究集会 2019-W02
減災・防災の徹底に向けた地学教育の展望と課題
ー北海道胆振東部地震など現場からの直接フィードバックー

=====プログラム=====

2019年8月24日(土)～25日(日)
東大地震研究所1号館2階セミナー室
研究会代表者:前田晴良(九大総合博物館)
受入教員:瀬瀬一起(東大地震研)

8月24日 10:00～10:10 開会挨拶:瀬瀬一起

10:10～12:30 セッション(1) 大学・大学院の地学・天文・防災教育
(座長:瀬瀬一紀)

10:10～10:30 中村 尚 (東京大学先端科学技術研究センター):最近の高等教育を
巡る話題ー学術会議の提言と学科・専攻アンケートからー

10:30～10:50 戸谷友則 (東京大学大学院理学系研究科):
東大大学院理学系研究科天文学専攻の昨今

10:50～11:10 福田洋一 (京都大学大学院理学研究科):
京都大学における地学教育の変遷ー四半世紀をふりかえりー

11:10～11:30 藤沢健太 (山口大学時間学研究所):防災への時間学の応用

11:30～11:50 大村 誠 (高知県立大学文化学部):
高知県立大学における地学・防災に関連する教育の現状

11:50～12:10 向井厚志 (福山市立大学都市経営学部):福山市立大学の地学・防災教育

12:10～12:30 瀬瀬一起 (東京大学地震研究所):途上国における地震学教育

12:30～13:30 昼食

13:30～16:40 セッション(2) 地学・天文・防災教育のアウトリ〜チ (座長:前田晴良)

13:30～13:50 西村智弘 (むかわ町穂別博物館)・前田 晴良(九州大学総合博物館):
北海道胆振地震(2018)について

13:50～14:10 新谷昌人 (東京大学地震研究所):
長スパンレーザーひずみ計による地 震と地殻変動の観測

14:10～14:30 加納靖之 (東京大学地震研究所):南海トラフの歴史地震と地学教育

14:30～14:50 岡田 誠 (茨城大学理学部):チバニアンと地学教育

14:50～15:10 角縁 進 (佐賀大学教育学系理数系グループ):有田焼と地学教育

(14:50～15:00) 休憩

15:00～15:20 矢島道子 (日本大学文理学部):地学教育のはじまりにあたって、
小林貞一の考えたこと

15:20～15:40 土佐 誠 (仙台市天文台):仙台天文台と地学・天文教育 -2-

15:40～16:00 竹本修三 (京都大学名誉教授):原発裁判における地球物理学的問題

16:00～16:40 井上公夫(砂防フロンティア整備推進機構):
わが国の歴史的な大規模土砂災害 学校地学教育への提言(招待講演)

(16:40～16:50) 休憩

16:50～17:40 総合討論(瀬瀬一起・前田晴良・畠山正恒) (17:40～17:50) 休憩

17:50～19:20 懇親会(向ヶ丘ファカルティハウス2F アプルボア)

8月25日

10:00~12:20 セッション(2)小・中・高校の地学・天文・防災教育

(座長：畠山正恒:聖光学院中学・高等学校)

10:00~10:20 杉 憲子 (共立女子大学名誉教授)：久田健一郎 (筑波大学)：

地学オリンピックの歴史と日本の関与

10:20~10:40 藤原 靖 (横浜国大学大学院)：高校「地学基礎」における神奈川県版

「教室で行う野外実習教材」

10:40~11:00 鈴木 大(神奈川県立向の岡工業高等学校 定時制総合学科)・齊藤紘美

(神奈川県立磯子工業高等学校)：高校工業科 建設系科目における防災教育

11:00~11:20 板山圭輔 (山梨県山中湖村立東小学校)：

小学校における地域素材を生かした地学教育

11:20~11:40 岡田桂子 (横浜国立大学大学院)：

気象庁ワークショップの教育現場での活用

11:40~12:00 松田博貴 (熊本大学理学部)：出前講義・地学実習を通しての高校生

への防災・減災教育

12:00~12:20 川辺文久 (文部科学省)：地学を題材とした国語教科書掲載作品の変遷

12:20~12:30 閉会挨拶：前田 晴良

12:30 散会